

第5回熊本駅西土地区画整理事業地内地質調査に関する専門家会議要旨

日時：令和4年11月9日（水）午前9時00分～午後12時30分

場所：議会棟 2階 議運・理事会室

出席者：北園会長、渡辺副会長、棕木委員、田上委員、菰方委員、原島委員、事務局（熊本市5名）

1. 報告事項

1) 第4回専門家会議の振り返りについて

報告事項

- ・「第3回専門家会議の振り返りについて」「地質調査試験等の結果について」に関する報告が事務局からあった。

審議事項

- ・「擁壁変状の原因について」では、盛土、自然地盤及び擁壁背面の盛土内排水について審議し、盛土及び自然地盤については更なる精査が必要と判断し、次回会議で継続して審議することとした。
- ・「法的検証について」では、検証項目ごとに当時の設計基準、指針及びマニュアル等と工事の記録を照合した。盛土材料の選定や盛土の品質管理などについては更なる精査が必要と判断し、次回会議で継続して審議することとした。
- ・「擁壁の安全性評価について」では、擁壁の安定解析結果及び地盤の圧密沈下解析結果から、現状及び将来的にも擁壁が安全な状態であると判断した。ただし、1つの街区の4宅地については、追加調査結果を踏まえて擁壁の安全性を再検証することとした。
- ・「対応方法について」では、1つの街区の4宅地において実施する追加調査の場所及び方法等を決定した。

2) 追加地質調査試験の結果について

- ・1つの街区の4宅地において実施した追加調査の結果について事務局から報告があった。

2. 審議事項

1) 擁壁変状の原因解明について

- ・地質調査及び土質試験の結果を踏まえ、盛土（材料及び施工）について審議した。
- ・4宅地のうちA宅地擁壁の傾き（3cm）の原因は、盛土施工（盛土の締固め不足）が主要因であるとの結論に至った。
- ・盛土の締固め不足による土の緩い状態の箇所に雨水が浸透したことにより、擁壁の傾きを引き起こした可能性が高いと考えた。

2) 今後の安全性の確保について

- ・4宅地の対策（A宅地の擁壁背面盛土の対策、C・D・E宅地の擁壁基礎地盤の対策）について審議した。

- ・ A 宅地の擁壁背面盛土については、平成 23 年 9 月以降擁壁の傾きが進行していないことから、薬液注入工法等の早急な対策の必要性はないものの、将来的な安全性に全く問題がないとまでは断定できないため、経過観察による対応が必要と判断した。
- ・ C・D・E 宅地の擁壁基礎地盤についても、薬液注入工法等の早急な対策の必要性はなく、経過観察による対応とし、併せて擁壁水抜孔の閉塞を実施することとした。

3) 法的検証(過去のプロセス検証)について

- ・ 施工前の盛土材料の選定、土質試験及び品質管理並びに施工中の品質管理について、基準等に適合しているか審議した。結果は以下のとおり。
- ・ 施工前の盛土材料選定は、基準に適合。
- ・ 施工前の盛土材料の土質試験は、基準不適合。
- ・ 施工前の盛土材料の品質管理は、2つの街区は基準に適合、別の街区は一部基準不適合、追加調査を行った4宅地を含む街区は基準不適合。
- ・ 施工中の盛土工事の品質管理については、2つの街区は基準に適合、別の街区は一部基準不適合、追加調査を行った4宅地を含む街区は基準不適合。